

アカゲラ通信



かつて円山にはアカショウビンがいた



かつて円山の登山道沿いに掲げられていた野鳥の看板。2008年10月11日に撮影されたものです。今では撤去されていますが、いつからいつまであったのかは不明です。

ここで目を引くのがアカショウビン。かつて円山でも見られたようで、「夏鳥 深山にすむ珍らしい鳥 円山でも鳴き声が聞ける」とあります。

1979（昭和54）年5月刊の「北海道・野鳥歳時記」（日本放送出版協会）によれば、執筆者が10年前にアカショウビンを円山西町の自宅で見た、1975年8月に円山の野鳥観察会で幼鳥が出た、1972年に野幌森林公园でもういいよというくらい頻繁に出た、といった話が紹介されており、当時は札幌市内近郊でも見られていたことが読み取れます。

しかし、1977（昭和52）年5月刊の『野鳥』（北海道新聞社）には、野幌森林公园では観光客が押し寄せ環境が荒らされあまり見られなくなったりとあり、当時既に減り始めていたようです。その本では千歳市青葉公園で撮影された写真が使われていますが、今はそこでも見られません。

2023（令和5）年刊行の『見分け方と鳴き声野鳥図鑑350』（世界文化社）には、アカショウビンは本州以南では分布が拡大傾向にあるが、北海道ではほとんど見られなくなったとの記述があります。

札幌で、円山で、アカショウビンが見られる日はもうこないのでしょうか。



レストハウス「ぼるく」2024年7月

フォトコンテストにご応募&投票いただきありがとうございました！

どの作品も素晴らしい、素敵な鳥たちの姿にお店も華やかになりました。上位3作品はこれら！来年は生き物全般を対象にと考えております、たくさんのご応募を心よりお待ちしております。

2位 シマエナガ



1位 シマエナガ



3位 ルリビタキ



旭山の樹木メモ② ヤマグワ

ヤマグワ 山桑 *Morus bombycina* バラ目クワ科

北海道から九州までの低地低山に普通。雌雄異株。甘くておいしい黒い実は雌の木にしかならない。花期5月下旬～6月。図鑑には高さ12mまでとあるが、8m以上の木はなかなか見ない。苫小牧北大研究林に大木がある。若いうちは樹皮に白く短い横筋が入る。雨に濡れると幹が赤茶色に見えて分かりやすい。

葉の形は裂け目があつたりなかつたり、同じ木の同じ枝でも形の違う葉が出たりする。やっかいだが、慣れると質感や葉脈の入り方などで形が違つても分かるようになる。イチジクもクワ科、大きく裂けたヤマグワの葉と形や雰囲気が似ている。

JR 桑園駅がある札幌市中央区北西部「桑園」地区は、19世紀の開拓の際に養蚕のために桑の木が植えられたためこう呼ばれるようになった。「桑園」は行政上の正式な住所名としては存在しない。当時植えられたのは本州で養蚕に使われていたクワで、ヤマグワではない。当時植えられたクワの木は今はもう残っていないという。ヤマグワも養蚕に利用され、品種もあるが、クワよりも葉が厚い。

旭山では園路沿いに稚樹幼木が多く出て一部は育っている。「雑木」(ざつぼく)というか、気づかぬうちに雑草のようにたくさん生えて伸びるのも速い。「おがる」とは北海道弁で「育つて大きくなる」の意味だが、「おがる」という方言がぴったり。ごく身近な木だ。写真上：いろいろな形の葉、中左：雌花 中右：雄花、下：実（赤いのは未熟）



2024年7月の野鳥トピックス

- シマエナガ：5月に幼鳥が巣立ち6月は群れで見られていました
- キビタキ：園内数か所で囁りが聞かれ探せば姿も見られます
- コサメビタキ：ごま塩頭の幼鳥が出てくるのは7/10過ぎ
- オオルリ：やはり幼鳥が出るのは7月中旬以降、それまで静か
- アオバト：園内で時々声が聞かれ姿も見られますが少ないです
- メジロ、ヒヨドリ：ヤマグワの実を食べによく来ています
- クロツグミ：時々囁りしており姿も見られることがあります
- クマゲラ：園内に時々やって来ています 「べこ餅」のようなシマエナガ幼鳥→
- カラ類幼鳥：6月に入り見られる機会が増え、数種の混群「とりのようちえん」も見られます



旭山生き物ミニ図鑑2024年7月



夏のエゾリス耳毛が短い



ヤマガラ幼鳥橙色がまだ薄い



シジュウカラ幼鳥ネクタイまだ不完全



ジョウザンミドリシジミ



今年大発生キアシドクガ（毒はない）ナワシロイチゴにとまるエゾコマルハナバチ雄 イボタノキの花



ヘビイチゴの赤い実



公式サイト

「アカゲラ通信」 第129号 2024（令和6）年7月1日発行

（公財）札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311（金・土・日・祝日 10時～16時）FAX 011-200-0351